

学年	1年	2年	3年	4年	卒業要件 (34単位)	
系	科目群	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	
	ゼミ	基礎ゼミ(2)	教養テーマゼミ(通年4)		教養探究ゼミ(2)	
系	スポーツ・健康	個人スポーツ・卓球 I(1) 個人スポーツ・硬式テニス I(1) 個人スポーツ・バドミントン I(1) 個人スポーツ・ゴルフ I(1) 個人スポーツ・フライングディスク I(1) チームスポーツ・バレーボール I(1) チームスポーツ・バスケットボール I(1) チームスポーツ・ソフトボール I(1) チームスポーツ・サッカー I(1) チームスポーツ・カローリング I(1) フィットネス・トレーニング I(1) フィットネス・フィットネス I(1) フィットネス・エアロビクス I(1) シーズンスポーツ A・ゴルフ(1) 障害者スポーツ A(1)		個人スポーツ・卓球 II(1) 個人スポーツ・硬式テニス II(1) 個人スポーツ・バドミントン II(1) 個人スポーツ・ゴルフ II(1) 個人スポーツ・フライングディスク II(1) チームスポーツ・バレーボール II(1) チームスポーツ・バスケットボール II(1) チームスポーツ・ソフトボール II(1) チームスポーツ・サッカー II(1) チームスポーツ・カローリング II(1) フィットネス・トレーニング II(1) フィットネス・フィットネス II(1) フィットネス・エアロビクス II(1) シーズンスポーツ B・スケート(1) 障害者スポーツ B(1)		2単位
	系	英語	ベーシック英語リーディングA(1) エレメンタリー英語リーディングA(1) インターメディアイト英語リーディングA(1) アドバンス英語リーディングA(1)		1単位	
ベーシック英語リーディングB(1) エレメンタリー英語リーディングB(1) インターメディアイト英語リーディングB(1) アドバンス英語リーディングB(1)			1単位			
ベーシック英語コミュニケーションA(1) エレメンタリー英語コミュニケーションA(1) インターメディアイト英語コミュニケーションA(1) アドバンス英語コミュニケーションA(1)			1単位			
ベーシック英語コミュニケーションB(1) エレメンタリー英語コミュニケーションB(1) インターメディアイト英語コミュニケーションB(1) アドバンス英語コミュニケーションB(1)			1単位			
系	第一外国語	ドイツ語基礎 A(通年2) ドイツ語基礎 B(通年2) ロシア語基礎 A(通年2) ロシア語基礎 B(通年2) フランス語基礎 A(通年2) フランス語基礎 B(通年2) 中国語基礎 A(通年2) 中国語基礎 B(通年2) スペイン語基礎 A(通年2) スペイン語基礎 B(通年2) 韓国朝鮮語基礎 A(通年2) 韓国朝鮮語基礎 B(通年2)		4単位		
		英語コミュニケーションIA(2) 英語コミュニケーションIB(2) メディア英語 A(2) 英語資格対策 I A(2) 英語資格対策 I B(2) 英語セミナー A(2)		英語コミュニケーションIIA(2) 英語コミュニケーションIIB(2) メディア英語 B(2) 英語資格対策 II A(2) 英語資格対策 II B(2) 英語セミナー B(2)		
系	第二外国語	ドイツ語演習 I(2) ドイツ語応用 I(2) ロシア語演習 I(2) ロシア語応用 I(2) フランス語演習 I(2) フランス語応用 I(2) 中国語演習 I(2) 中国語応用 I(2) スペイン語演習 I(2) スペイン語応用 I(2) 韓国朝鮮語演習 I(2) 韓国朝鮮語応用 I(2)		ドイツ語演習 II(2) ドイツ語応用 II(2) ロシア語演習 II(2) ロシア語応用 II(2) フランス語演習 II(2) フランス語応用 II(2) 中国語演習 II(2) 中国語応用 II(2) スペイン語演習 II(2) スペイン語応用 II(2) 韓国朝鮮語演習 II(2) 韓国朝鮮語応用 II(2)		
		自然の探究 化学A(2) 化学B(2) 地学A(2) 地学B(2) 生物学A(2) 生物学B(2)		4単位		
系	人間の探究	哲学 A(2) 哲学 B(2) 倫理学A(2) 倫理学B(2) 論理学A(2) 論理学B(2) 心理学(2) 日本史A(2) 日本史B(2) 東洋史A(2) 東洋史B(2) 西洋史A(2) 西洋史B(2) 文学 A(2) 文学 B(2) 言語学A(2) 言語学B(2)		4単位		
		日本国憲法(2) 法 学(2) 政治学A(2) 政治学B(2) 社会学A(2) 社会学B(2) 経済学 A(2) 経済学B(2) 地理学A(2) 地理学B(2) 教育学A(2) 教育学B(2)		4単位		
系	新領域	ジェンダー論A(2) ジェンダー論B(2) 健康科学A(2) 健康科学B(2) 環境科学A(2) 環境科学 B(2) 情報科学A(2) 情報科学B(2) 平和論 A(2) 平和論 B(2) 職業と社会(2) グローバル・メディア論(2)		4単位		
		異文化研究(2) 教養テーマ講義A(2) 教養テーマ講義B(2) 教養テーマ講義C(2) 教養テーマ講義D(2)				
系	テーマ	海外教養科目(4)				

左の単位以外で  
全学共通科目の  
いずれかから  
8単位

# 6 全学共通科目について

問合せ先 教務課：名古屋 5号館 1F 豊田 1号館 1F

## 全学共通科目について

大学においては専門的知識を身に付けるだけでなく、幅広く深い教養と総合的な判断力を培うためのカリキュラムが用意されています。全学共通科目には多様な科目が置かれていますので、『シラバス～授業計画～』を参考にして科目を選択し、総合的な知識を身に付けるとともに、論理的思考力とコミュニケーション能力を磨いて下さい。

## 不開講科目／履修者数制限

履修希望者が極端に少ない場合、科目によっては、各学期始めに授業担当教員と履修者との合意のうえで、その学期の授業を不開講とすることがあります。

また、履修希望者が多すぎて授業に支障をきたす場合は、履修者数の制限を行うこともあります。初回の授業には必ず出席し、授業担当教員の説明をよく聞いて下さい。

## 基礎ゼミ／教養テーマゼミ／教養探究ゼミ

履修希望者は、初回の授業に必ず出席して下さい。

### 《履修上の注意》

「基礎ゼミ」は1年生のみが履修登録できる科目です。  
2年生以上の再履修はできません。

## スポーツ・健康

スポーツ・健康科目(各1単位)の中から卒業所要単位として2単位を修得しなければなりません。

各学期を通して全ての科目が開講されているとは限りません。

### 《履修上の注意》

- ①各セメスターともに1科目(1単位)しか履修登録できません(シーズンスポーツを除く)。
- ②各スポーツ・健康科目は履修者数制限を行います。
- ③「I」は春学期、「II」は秋学期の開講科目となります。
- ④「I」と「II」は独立した科目ですが、「I」は基礎的な授業展開を行い、「II」は発展的な授業展開を行います。  
したがって、「II」を履修登録する際には同一科目の「I」を修得しておくか、過去に当該科目(スポーツ)と同等の経験を有することが望まれます。
- ⑤「シーズンスポーツA・ゴルフ」、「シーズンスポーツB・スケート」は、春学期および秋学期の通常開講時間帯もしくは定期試験終了後の集中講義期間に行います。CUBICSで履修登録をした学生を対象に抽選を行い履修者を決定します(詳細はALBOとシラバスで確認し履修登録して下さい)。
- ※春・秋学期ともにシーズンスポーツのみの履修登録可能。
- ※春・秋学期ともに個人スポーツ、チームスポーツ、フィットネスとの同時履修登録可能。
- ⑥障害者スポーツA・Bは、身体的な事情によって長期にわたり他のスポーツ種目の履修が困難と考えられる学生を対象とします。医療機関が発行する診断書が必要です。まず、授業担当教員と当該学生との間で日常生活活動能力の程度や実施可能な身体活動について面談します。面談を通じて同意の得られた身体運動を中心に授業の展開方針を決めます(必ず授業担当教員に履修許可を得てから教務課で履修登録して下さい)。

### 《履修方法》

- ※履修登録は各自がCUBICSで行います。
- ※復学者・編転入学者の履修については、教務課窓口まで申し出て下さい。

## 英語

下表の4区分(英語選必①～④)の中から卒業所要単位として各区分1科目(1単位)を修得して下さい。

区分	科目名	開講セメスター／単位数	卒業要件
英語選必①	アドバンスト英語リーディングA インターミディエイト英語リーディングA エレメンタリー英語リーディングA ベーシック英語リーディングA	春学期 ／各1単位	1単位 選択 必修
英語選必②	アドバンスト英語リーディングB インターミディエイト英語リーディングB エレメンタリー英語リーディングB ベーシック英語リーディングB	秋学期 ／各1単位	1単位 選択 必修
英語選必③	アドバンスト英語コミュニケーションA インターミディエイト英語コミュニケーションA エレメンタリー英語コミュニケーションA ベーシック英語コミュニケーションA	春学期 ／各1単位	1単位 選択 必修
英語選必④	アドバンスト英語コミュニケーションB インターミディエイト英語コミュニケーションB エレメンタリー英語コミュニケーションB ベーシック英語コミュニケーションB	秋学期 ／各1単位	1単位 選択 必修

※場合によっては不開講となる科目もあります。

### 《履修上の注意》

- ①1年生配当科目のため、1年生で履修することが望まれます。
  - ②シラバスを参照し、各区分(英語選必①～④)から、それぞれ1科目を履修しなければなりません(各科目のレベルと到達目標については下表を参照して下さい)。
  - ③各区分における履修登録できる科目数は、各学期1科目となります。
  - ④各区分において1科目修得した場合は、同一区分の他の科目は履修できません。
- ※履修登録は各自がCUBICSで行います。なお、各科目には定員があり、履修者数制限を行います。
- ※復学者・編転入学者の履修については、教務課窓口へ申し出て下さい。

### 《再履修について》

- ①再履修登録が必要です。履修方法と受付日程はALBOで案内しますので、指示に従って再履修登録を行って下さい。
  - ②原則として、1年生で開講されている4区分の中の「エレメンタリー」または「ベーシック」で再履修して下さい。但し、申し出内容によっては「インターミディエイト」の履修を認めることがあります。
- ※再履修登録は先着順で行い、各クラス定員になり次第締め切ります。

科目名	受講対象者のレベルと到達目標
アドバンスト	英検準1級以上の学力をつけることを目標とする。
インターミディエイト	英検2級以上の学力をつけることを目標とする。
エレメンタリー	英検準2級以上の学力をつけることを目標とする。
ベーシック	必要に応じて英語の初歩に立ち戻って勉強する英語再入門クラスである。(学力の不足を補完するため、多くの自宅学習・課外学習を課すことがある)。

## 第二外国語

## 【機械システム工学科・電気電子工学科】

ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語が開講されます。

## 【情報工学科・メディア工学科】

ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、韓国朝鮮語が開講されます。

## 《各外国語基礎A・B》

1年生は全員、各外国語基礎A・Bを履修しなければなりません。クラスは新1年生ガイダンス内で発表します。また、ガイダンスにて各外国語担当教員による第二外国語相談会を実施します。

## 《各外国語基礎A・Bの再履修について》

①再履修は、1年生に履修した外国語と同一の外国語でなければなりません。やむを得ない理由で1年生と異なる外国語の履修を希望する場合には、2年生履修登録日までに教務課窓口へ申し出て下さい。変更理由やクラス定員の問題により変更が認められない場合もあります。

②再履修登録が必要です。履修方法と受付日程はALBOで案内しますので指示に従って再履修登録を行って下さい。

③再履修は、原則として自分の所属する学部で履修して下さい。但し、時間割の都合で不可能な場合は、他学部で履修することもできます。※再履修登録は先着順で行い、各クラス定員になり次第締め切ります。

## 《各外国語演習I・IIおよび応用I・II》

各外国語演習I・IIおよび応用I・IIを履修する場合は、それに対応した各外国語基礎A・Bを両方修得済みか、履修登録をしていなければなりません。履修希望者は必ず初回の授業に出席して下さい。

## 第三外国語

1年生で履修した英語と第二外国語以外に、2年生以降に第二外国語の中で自分が修得した外国語以外の外国語の中から3つ目の外国語を修得して全学共通科目の卒業所要単位に算入することができます。

## 《第三外国語としての各外国語基礎A・B》

第三外国語として希望する各外国語基礎A・Bを履修する場合は、第二外国語で履修した各外国語基礎A・Bの両方を修得済みでなければなりません。

第三外国語の場合は、各外国語基礎A・Bいずれか一方でも履修できます。

## 《第三外国語としての各外国語演習I・IIおよび応用I・II》

第三外国語として希望する各外国語演習I・IIおよび応用I・IIを履修する場合には、それに対応した第三外国語の各外国語基礎AまたはBを修得済みか履修登録していなければなりません。

## 《履修方法》

第三外国語の履修希望者は、CUBICS履修登録修正期間までに教務課窓口へ申し出て下さい。

※第三外国語を履修する場合は授業担当教員の許可が必要です。許可を得ずに履修登録した場合は、単位が認定されません。また希望するクラスの履修者数が多い場合には、履修できないことがあります。

## 外国語演習(英語)

各科目のレベルと到達目標については下表を参照して下さい。

科目名	受講対象者のレベルと到達目標
英語コミュニケーションⅠ	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身につけます。TOEIC400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語コミュニケーションⅡ	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身につけます。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
メディア英語	新聞、雑誌、テレビなどのメディアで使われる英語の理解力向上をはかります。
英語資格対策Ⅰ	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語資格対策Ⅱ	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語セミナー	専門的な英語の運用能力向上を望む学生のニーズに応えるための上級者用集中クラスです。

## 《履修上の注意》

「英語コミュニケーションⅠA、ⅡA、ⅠB、ⅡB」と「英語資格対策ⅠA、ⅡA、ⅠB、ⅡB」については、それぞれ以下の履修登録上の制限があります。

- ①春学期にⅠAとⅡAを同時に履修登録することはできません。
- ②秋学期にⅠBとⅡBを同時に履修登録することはできません。
- ③ⅡAを修得後、ⅠAを履修登録することはできません。
- ④ⅡBを修得後、ⅠBを履修登録することはできません。

## 自然の探究／人間の探究／社会の探究／新領域

「〇〇A」と「〇〇B」は独立した科目ですが、「〇〇B」を履修する前に「〇〇A」を履修しておくことが望ましい場合もあります。各科目の『シラバス～授業計画～』を参照して下さい。

## 海外教養科目

- ①ISEP加盟大学、および中京大学海外交流協定大学へ交換留学生として選抜派遣された学生が留学先大学で修得した単位については、原則として全学共通科目にある科目に読み替えてこれを認定します(成績表上には「N」として表記されます)。
- ②上記読み替えがきかない科目の中で、国際教養学部が認めた科目については、全学共通科目の「海外教養科目」として認定します。
- ③「海外教養科目」として認定できる単位数は4単位までとし、1または3単位などの分割認定も認めます。

## 再試験

全学共通科目について、再試験は実施しません。